

1. 県内自治体における水環境に関連した取り組みについて(Q18)

●取り組みの内容

各自治体が計画的に実施している、水循環に関連した啓発イベント、環境学習、環境保全活動に対する支援等について、具体的にあげてもらった。回答のあった自治体数は61である。1つの自治体で複数あげているところもあるため、合計数は自治体数とは一致しない。

活動の内容	尾張地域 (知多半島 以外)	知多半島1	知多半島2	知多半島3	西三河地域	東三河地域	合計
清掃活動(活動への補助含む)	6	1	2	1	12	10	32
自然観察会・調査等体験学習	10	1	1	6	8	8	34
啓発イベント(祭りへの出展、パネル貸し出し等)	4	1		2	8	4	19
施設見学会、一般公開						2	2
生活排水対策、水質保全対策 (啓発資材等の配布)	3			2	8	5	18
水質調査・調査器材貸し出し等	1	1	1				3
シンポジウム、出前講座等講演会	3	1			1	4	9
その他	2		3		1	1	7
なし、未把握	12	1		1		2	16

注: 知多半島1: 伊勢湾側(東海市、知多市、常滑市)
知多半島2: 伊勢湾・三河湾(美浜町、南知多町)
知多半島3: 三河湾(大府市、東浦町、阿久比町、半田市、武豊町)

取り組みの内容としては、自然観察会等の体験学習と清掃活動への補助が最も多い。次いで啓発イベント(産業まつりなどへの出展等)、生活排水対策のための啓発資材の配布等となった。ただし件数は、個別の団体への支援を複数挙げている場合と同種の取り組みはまとめて記載している場合があるため、同じ整理の仕方とはなっていない。

「その他」は7件あり、廃食用油の回収・石けんづくり、外来魚の駆除、EM菌による河川浄化事業、ゲンジボタルの幼虫放流等があった。

典型事例 1:

豊橋市では、河川の清掃活動を実施する10人以上の認定団体で1回2時間以上、年2回以上の活動に対して、1人あたり400円(1団体8万円限度)の報奨金を用意している。このほかにもゴミ袋の支給、「川の生き物教室」などのイベントと組み合わせたものがある。

典型事例 2:

豊橋・田原両市内の小中学生と保護者を対象に「汐川干潟自然観察会」を年2回、豊橋市と田原市の共催で行っている。干潟の生きものや野鳥を観察することで、その保全に対する意識の向上を図ることを目的としている。

●取り組みの対象者

取り組みの対象者としては、市民団体・NPO・自治会等の既存団体が最も多く、124例中の42例を占める。次いで希望者を募集、祭りなどの来場者、学校等が同程度となっている。回答に参加の形態が明示されていない事例については、活動内容の記述から対象者を推定した。

参加の形態	尾張地域 (知多半島 以外)	知多半島1	知多半島2	知多半島3	西三河地域	東三河地域	合計
市民団体、NPO、自治会等	10	1	3	2	15	11	42
希望者を募集	6		3	1	9	9	28
祭りなどの来場者	6	1		5	8	7	27
学校等	7	3		3	6	7	26
その他			1				1
なし、未把握	11	1		1		2	15

注：知多半島1：伊勢湾側(東海市、知多市、常滑市)
 知多半島2：伊勢湾・三河湾(美浜町、南知多町)
 知多半島3：三河湾(大府市、東浦町、阿久比町、半田市、武豊町)

2.自治体管内における NPO 等の水環境に関連した取り組みについて(Q19)

●取り組みの実施内容

各団体の取り組みの実施内容のうち主なものを下表に示す。

最も多かったのが河川美化活動に関連するもので、美化活動に付随して水質調査やイベントを行うものもこれに含まれ、全体の約半分を占める。なお、同一団体の異なる活動について個別に例示している場合もあるため、件数＝団体数とはなっていない。

また、NPO 等の取り組みについて「なし」または「未把握」とした自治体数は 33 である一方、多いところでは 10 団体を挙げてきており（豊橋市）、地域によって活動の状況や行政の把握状況に差があることが伺える。

活動の内容	尾張地域 (知多半島 以外)	知多半島1	知多半島2	知多半島3	西三河地域	東三河地域	合計
河川美化活動	10	1		1	13	2	27
講師派遣等						1	1
水質・水生生物調査等現地調査	5				2	4	11
川遊び等遊びイベント	1				3	1	5
廃食油石鹸づくり				2	1	1	4
その他	3		2			1	6
なし、未把握	16	2		3	6	6	33

注：知多半島1:伊勢湾側(東海市、知多市、常滑市)
知多半島2:伊勢湾・三河湾(美浜町、南知多町)
知多半島3:三河湾(大府市、東浦町、阿久比町、半田市、武豊町)

典型事例 1:「乙川を美しくする会（岡崎市）」

岡崎市の乙川を対象に活動。活動内容は①河川パトロール・広報宣伝、②草刈清掃、③蛍の幼虫の放流で、それぞれ①年 6 回、②年 38 回、③年 1 回実施している。

典型事例 2:「中島池森の会（犬山市）」

犬山市城車小学校の児童とその家族（希望者のみ）で年 1 回、田口洞川や中島池に生息する生物を調査し、水質状況を評価している。

典型事例 3:「ボランティアサークル新友会（知立市）」

年に 1 回、猿渡川中流で川の清掃及び付近のごみ拾い活動、ボートを使って川下りや生物調査などのイベントを開催し、自然の良さを再確認し、地域と交流を深めている。